

福島県郡山市に本社を置くスポーツ専門店のゼビオは2月10、12日に福島の猪苗代町などで開催される「2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島」に協賛する。ゼビオはこれまでもスペシャルオリンピックスに協力し、知的発達障害のある人にスポーツを楽しむ機会を提供している。

## 障害者スポーツ支援のゼビオ

スペシャルオリンピックス日本の有森裕子理事長らが出席した大会結団式



# スペシャルオリンピックス・福島で「関心と参加」と復興の輪広げる



ゼビオは10年2月のスペシャルオリンピックス日本・福島の設定時から協力し、立ち上がり時は諸橋社長が副会長を務めてきた。福島大会は認定NPO（非営利組織）法人スペシャルオリンピックス日本の主催のもと開催が決まり、13年冬季世界大会（韓国・平昌）の選考会としてアルペンスキーやスノーボード、クロスカントリースキー、フィギュアスケートなど7競技に選手約900人、ボランティア約2000人が参加する。

### 全国店舗と運動して

東日本大震災と放射能の影響で一時は開催も危ぶまれたが、当初計画していた開催地より安

トナー含む）を生かした大会PRや売上金が運営資金となる大会グッズ販売、募金活動などを行っている。

スペシャルオリンピックスの財政は多くが寄付と支援で成り立っている。ゼビオは団体・企業・個人の枠を超えて支援の輪を広げている。2月の「東京マラソン」では大会初のチャリティースポンサーになり、東京マラソン財団とともにチャリティランナーの募集や広報の窓口や運営、決済を支援している。チャリティランナーが選ぶ「つなぐ」をコンセプトにした寄付支援先10団体の一つにはスペシャルオリンピックス日本の福島大会が含まれる。

### 団体・企業の枠超え

スポーツを通じた社会貢献活動を実施する一般財団ユニテッド・スポーツ・ファウンデーションが行う「応援ボランティア」（応援ツールの配布、応援席の清掃など）の活動協力や、プロアイスホッケーチームの東北フリーブレイズによるチャリティアイスフェスティバルもその一例だ。2日には大会応援企画として元プロ野球選手の桑田真澄氏の講演会を開き、人々と大会の接点を増やしている。

大会準備と並行して同社は震災発生以来、復興支援活動を行っている。昨年12月には福島県南相馬の中学野球部生徒の「思い出作り」に記念試合を行い、子供を対象とした支援活動にも力を入れている。「CSR（企業の社会的責任）は多岐にわたるが、単一企業としてだけでなく業界全体の意識で取り組みたい」と諸橋社長は語る。スペシャルオリンピックスを通じた知的発達障害のある人へのスポーツの場の提供も福島の復興も、様々な個人・団体・企業の協力があつてこそ実現する。大会開催はもう目前だ。

全な西側へ会場を移した。ゼビオは「スポーツで福島に元気を取り戻したい」（諸橋社長）との考えから、大会に協力し、運営サポートや人的支援のほか、

全国店舗（スーパースポーツゼビオ、ヴィクトリア、ゴルフパ